

2020年
5月10日
No. 159

2020年度 東京蜘蛛談話会総会例会

2020年4月29日に予定しておりました総会例会は**中止**いたしました。

東京蜘蛛談話会 2020年度採集観察会

1. 期 日： 第1回 2020年 **中止** 第2回 2020年7月12日(日)
第3回 2020年10月18日(日) 第4回 2021年2月14日(日)
2. 場 所： 円海山 (横浜市氷取沢市民の森)
3. 集 合： 集合 10:00
JR 京浜東北・根岸線 港南台駅
4. 世話人： 安田明雄

東京蜘蛛談話会 2020年度合宿

2020年度の合宿は、日本蜘蛛学会大会に続けて熊本県熊本市を拠点として行う予定でしたが、学会大会開催日程が未定のため**中止**といたします。

入退会は：

事務局 初芝伸吾 〒186-0002 東京都国立市東 3-10-8
コンフィデンス高垣 105 有限会社エコシス
E-mail : hatsushiba-ecosys@h8.dion.ne.jp

KISHIDAIA 原稿投稿先：

谷川明男 〒横浜市栄区小菅ヶ谷 1-4-2-1416
E-mail : dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp
キンダイアの原稿締め切りは、6月末日と12月末日です。

通信原稿投稿先：

谷川明男 〒247-0007 横浜市栄区小菅ヶ谷 1-4-2-1416
E-mail : dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp
通信の原稿締め切りは、4月末、8月末、12月末です。

東京蜘蛛談話会の会費は、一般 2000 円，学生 1000 円です。

郵便振替口座 00170-8-74885 東京蜘蛛談話会へお願いします。

2019 年度決算

東京蜘蛛談話会

収入の部

2020年4月29日

項 目	決算額(¥)	備 考
1.会費	429,000	
内訳 a.19 年度会費	117,000	欄外 1
b.20 年度以降前納会費	285,000	
c.18 年度以前未納分会費	27,000	
2.寄付	2160	欄外 2
3.雑収入	0	
4.別刷り代	48,792	115,116 号
5.利息	7	
6.クモ基本 60 売上	6,510	
収入合計	486,469	
7.繰越金		
(1)18 年度以前 前納会費	339,600	
内訳 a.19 年度分	255,100	
b.20 年度分	57,100	
c.21 年度分	13,800	
d.22~24 年度分	13,600	
(2)特別会計 (プール金)	2,172,141	
繰越金合計	2,511,741	
合計	2,998,210	

支出の部

項 目	決算額(¥)	備 考
1.会誌作成	675,466	115,116 号
2.会誌発送	35,108	
3.別刷り作成・発送	48,792	115,116 号
4.談話会通信	79,967	156,157,158 号
5.事務局等通信費	43,380	
6.事務用品等	8000	
8.予備費	0	
支出合計	890,713	
9.繰越金		
(1)20 年度以降の前納会費	369,500	
内訳 a.20 年度分	270,100	
b.21 年度分	48,800	
c.22 年度分	23,800	
d.23~25 年度分	26,800	
(2)特別会計 (プール金)	1,737,997	
繰越金合計	2,107,497	
合計	2,998,210	

繰越金の預け先：郵便貯金（普通）	¥346,485
振替口座	¥1,735,394
現金	¥25,618
合計	¥2,107,497

欄外 1：19 年度会費は、前納分 255,100 円とあわせて 372,100 円受領しました。

欄外 2：菅波洋平様、高津佳史様

以上、報告いたします。2020 年 4 月 1 日 会計 須黒達巳

適切に会計処理されています。2020 年 4 月 23 日 会計監査 興石紗葉子

2020 年度予算

東京蜘蛛談話会
2020 年 4 月 29 日

収入の部

項 目	金 額(¥)	備 考
1. 20 年度会費	464,100	2,000 円×118 人+1,900 円×9 人
内訳 a.前納分	270,100	+1,000 円×26 人
b.20 年度納入予定分	194,000	2,000 円×84 人+1,000 円×26 人
2. 寄付	0	
3. 雑収入	0	
4. 別刷り代	50,000	
5. 利息	10	
収入合計	514,100	
6. 繰越金		
(1)21 年度以降の前納会費	99,400	
内訳 a.21 年度分	48,800	
b.22 年度分	23,800	
c.23~25 年度分	26,800	
(2)特別会計 (プール金)	1,737,997	
繰越金合計	1,837,397	
合計	2,351,507	

支出の部

項 目	金 額(¥)	備 考
1. 会誌作成	500,000	250,000 円×2 回 (117,118 号)
2. 会誌発送	35,000	
3. 別刷り作成・発送	50,000	
4. 談話会通信	90,000	30,000 円×3 回 (159,160,161)
5. 事務費・通信費	45,000	欄外 1
6. 事務用品等	10,000	
7. 総会・例会	20,000	10,000 円×2 回
9. 予備費	10,000	
支出合計	760,000	
10. 繰越金		
(1)21 年度以降の前納会費	99,400	
内訳 a.21 年度分	48,800	
b.22 年度分	23,800	
c.23~25 年度分	26,800	
(2)特別会計 (プール金)	1,492,107	
繰越金合計	1,591,507	
合計	2,351,507	

欄外 1：事務局・会計・編集各 5,000 円，通信 6,500 円，観察会・合宿事前調査費各 10,000 円
通信費，振込手数料等 3,500 円

2019 年度会員動向

2019 年 4 月 1 日時点の会員数 244 名

入会 17 名，退会 7 名

2020 年 4 月 1 日現在の会員数 254 名（一般 211 名，学生 43 名）

多摩だより (1) 裏高尾の蛇滝

新海 明

私の「蜘蛛遍歴」は昭和42年(1967年)3月に始まった。なぜ、いつ始めたのかがはっきり言えるのかといえば、この時に意を決して兄(栄一)に弟子入りしたからだ。私は兄と同じ(さらに言うと祖父とも同じ)中高一貫校に通っていた。生き物には全く関心の向かない中学生だった。入学するとどこかのクラブに所属するのが習わしだった気がするが、どこにも入部していない同級生もいたので規則だったわけでもなさそうだ。兄が所属していた生物部に入ったのは「成り行き」だった・・・と思う。ところが、入部したものの同級生と野球をしたりサッカーをしたり毎日で、部室にもいかず「お前は何で生物部に入ったのか」と叱られたこともあった。

転機は兄の卒業だった。当時の兄は、それこそ今でいう「天才クモ少年」だった。クモ学会の名だたる先生たちと交流し、クモの研究で東京都の学生生物発表会で賞を総なめにしていた・・・という印象があった。クラブでも「クモの新海」「新海の生物部」といった感があり、文化祭の展示ではクモ班だけにひと教室があてがわれ、そのほかの班は小スペースに押しやられている有様だった。その兄が卒業するというのだ。そして次の代を背負うのは、その弟である「私かあ」と思ったのだ。なんたって、その当時の私は、オオヒメグモを採っては「トタテグモを採ったぞ」と叫んでいた程度だ。「だから、それはオオヒメグモだって何度も教えただろう」とよく呆れられた。別に勘が悪かったわけではない・・・と思う。オオヒメグモ＝トタテグモと勘違いして覚えていただけだった(やっぱり、勘が悪かったんじゃないかと、突っ込まないでください)。まあ、結局クモに対しての興味も関心もなかったんだと思う。

兄がいよいよ卒業となった中2の終わり、すなわち1967年3月に「このままではヤバイ」と考え、決心して兄に弟子入りを願ったのだ。この時に「では」と連れて行ってもらったのが裏高尾の蛇滝だった。当時の国鉄(今のJR)高尾駅から徒歩で向かった。その途上で、これがオオヒメグモ、これがヒラタグモ、これがクサグモの幼体などと詳しくは覚えていないが、伝授されたに相違ない。そして小仏峠へと続く舗装道路にある目印となる養老院を左に折れ登山道に入ると、ここはクモの巣窟だ。みっしりと苔むした大きな岩ではキノボリトタテグモの巣を見せてもらった。コツをつかむとキノボリが次々と発見できた。やはり自力で見つけると嬉しいものである。さらに初春ということもあり樹皮下にもクモがいることを教えてもらった。調子に乗って次々と杉の樹皮を引っぱがした(こんなことは今ではなかなかできなくなったが)。この時に出合ったのが「オビボソカニグモ」だった。まさに「ビギナーズラック」だ。この時の兄の「のせ方」もうまかったんだろう。「これは俺も採ったことがない」「珍品だ」などといわれて舞い上がってしまった。この蛇滝でのクモ採集を契機に、私のクモ採集熱はヒートアップした。このころに採集して珍品とされたクモとしてはシャラクダニグモ(小金井の神社)

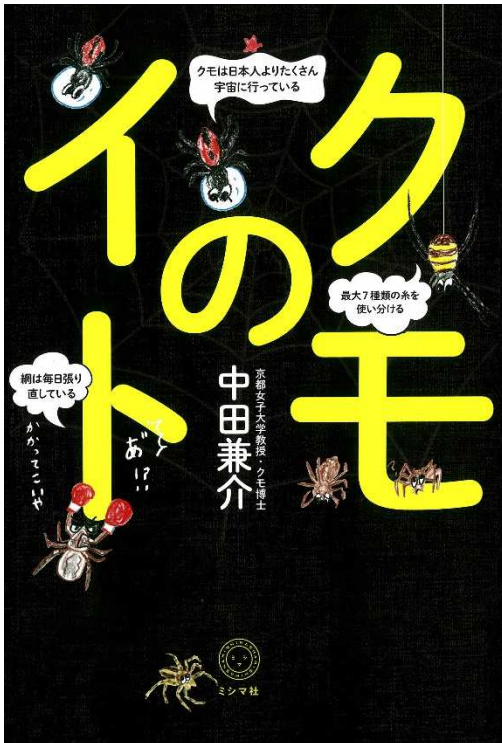


やコタナグモ (自宅の下水) などが
思い出に残っている。

もうすでに半世紀を超えたクモ
人生の出発点は裏高尾の蛇滝で採
ったオビボソカニグモとの出会い
だった。オビボソカニグモは今でも
そうやすやすと採れるクモでなく、
各地で報告されるクモリストにこ
の名前を見つけると、いまだに少し
心がときめくクモのひとつである。

←オビボソカニグモ

新刊紹介



←

クモのイト 中田謙介著

200p, ミシマ社

ISBN-10: 4909394265

1980 円

CD 日本のクモ Ver.2020

著者自刊, 2140 円

谷川まで dp7a-tnkw@j.asahi-net.or.jp

↓





Who is that silhouetted ? 絵 : 加藤康子